

レジメン名

Bev+CBDCA+PTX

出典 N Engl J Med 2006;355:2542-50.  
Lung Cancer 76(2012) 362-367

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

NSCLC(非扁平上皮がん)  
 Ⅲ進行・再発  
 補助療法(術前・術後)  
  
  
 原則PS0-1を対象とする

投与減量の基準

その他				

1クール期間 21日  
(次のクールまでの標準期間)

総クール数 4-6クール  
※その後、維持療法としてBevのみ継続

投与中止の基準

WBC	2000/mm <sup>3</sup> 未満	PLT	5万/mm <sup>3</sup> 未満
ANC	1000/mm <sup>3</sup> 未満	Hb	8.0g/dL未満
AST,ALT	200IU/L以上	T-bil	3.0mg/dL以上
その他			

出典には中止基準設けられていないため、Grade3以上の有害事象である上記の値で登録とした。

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ペバシズマブ	15mg/kg	NS100mL	90分* (30分まで漸減可能)	d1
パクリタキセル	200mg/m <sup>2</sup>	輸液500mL	3時間	d1
カルボプラチン	AUC4-6(GFR+25)	5%TZ250mL	60-90分	d1
カルボプラチンの投与量計算に用いるGFRはCockcroft-GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち低い値を採用。安定性の観点から、カルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。				
※初回は90分、忍容性があれば2回目は60分、3回目以降は30分まで短縮可能				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②ペバシズマブ15mg/kg+生食100mL(90min*) ③生食50mL(フラッシュ) ④グラネセロン3mgバッグ+テキサート16.5mg+ホウラン5mg+ファモチジン20mg(30min) ⑤パクリタキセル200mg/m <sup>2</sup> +輸液500mL(3hr) DEHPフリーのインラインフィルターを用いて投与 ⑥カルボプラチン mg+5%糖液250mL(60-90min) ⑦生食50mL(フラッシュ用)